

暮らしが息づく 安曇野の 未来に向かって



安曇野市長

太田 寛

安曇野市は本年、市制施行20周年を迎えました。この記念すべき節目を多くの市民の皆さまと共に迎えることができましたことに深い喜びを感じております。

誕生から20年の年月が経ち、旧5町村の意思を受け継ぎつつ、市民の皆さまの暮らしと共に作り上げてきた魅力と誇りの大きな流れは安曇野の大地を潤す水のように広がりを見せています。その流れは全国にも広がり、そして再び安曇野での暮らしにつながるよう、安曇野市では「自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野」を目指して施策を展開してまいりました。

北アルプスや田園風景と共に、そこに暮らす人々の営みを感じられる――。安曇野の魅力は自然と暮らしが一体となって作られております。先人から受け継いだ自然

と共にある伝統・文化を未来へつないでいくために「ふるさととは未来からの預かりもの」という思いを持ち、私たちは次の世代に安曇野での暮らしをしっかりと引き継いでいく必要があります。

第二次世界大戦が終結するまでの約15年間、多くの若者が安曇野から戦場へ赴き、貴重な生命が失われました。彼らが故郷を離れる時に目に焼き付け、異郷で思い浮かべたであろう美しい山々と清らかな水の流れをいつまでも残していくのが私たちの使命です。子や親や兄弟姉妹を失う悲しみを後世の人々に味わせてはなりません。

この市制施行20年、そして戦後80年を新たな出発点として、未来への一歩を共に踏み出しましょう。安曇野が、これからも人々の心を潤し、希望を育む場所であり続けることを心から願っております。

